

**製品名: CNAP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84720**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	Calculated MW: 157 kDa ; Observed MW: 150 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CNAP1
別名	CAPD2; CEP2; CEP250; CNAP1; CND1; Condensin; hCAPD2; NCAPD2;;Condensin complex subunit 1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q15021
免疫原	ヒトコンデンシン複合体サブユニット 1 由来の合成ペプチド

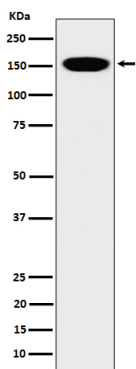
**背景**

コンデンシン複合体の調節サブユニット。コンデンシン複合体は、間期クロマチンを有糸分裂様の凝縮染色体に変換するために必要な複合体です。コンデンシン複合体は、I型トポイソメラーゼの存在下では弛緩した DNA に正のスーパーコイルを導入し、II型トポイソメラーゼの存在下では切断された DNA を正のノット型に変換すると考えられています。コンデンシン複合体は、C末端ドメインを介して DNA に標的を定める可能性があります。

## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の CNAP1 発現のウェスタン プロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

